

第3節 流域の将来像

流域は、大阪府及び流域市町村の総合計画等により、概ね次のような方向付けがなされています。

大阪府の土地利用計画では、南河内地域は、恵まれた自然条件、歴史・文化的条件等を活かし、既成市街地の住環境の向上を図るとともに、自然環境の保全に十分配慮しつつ、自然と共生する住宅地の形成を図ることとしています。

大阪府の新環境総合計画では「みどりの風を感じる大阪」を目指して、みどりの連続性を強化し、海～街～山をつなぐ「みどりの軸」を創出するとともに、CO₂の吸収をはじめ、みどりの多様な機能を発揮させる「周辺山系など既存のみどりの保全・再生」、多様なみどりを増やし、つなぎ、広げる「みどりの量的充足」、暮らしの豊かさや安全・安心、生物多様性確保などに資する「みどりの質の向上」を図るため、広域的なみどりのネットワークを構築し、実感出来るみどりづくりを推進することとしています。そのため、河川では持続的かつ多様な河川環境の創出、緑化、景観形成などが求められています。

流域市町村の総合計画等では、石川ブロックの特色である、豊かな自然と歴史文化を活かし、魅力的な街づくりによる人口減少の抑制、交流人口の拡大を図るなど、まちの活力を維持・充実していくことが求められています。また、河川や水路においては、災害に強い市街地の形成、雨水排水機能の確保、水資源の有効活用などの基本的な役割に加え、豊かな自然とまちを結ぶ水と緑のネットワークの形成などの観点から保全や整備を進めることにより、住民にとって、身近なみどりや水辺に親しめる魅力ある空間となること、地域の歴史や文化につながる空間となることが期待されています。



大阪府都市基盤整備中期計画(案)	南河内地域版 地域整備アクションプラン(案)
<p>既存ストックを活用しながら、限られた投資で最大限の効果をあげるため、「都市の再生」「安全で安心できる都市づくり」「府民と創る開かれた土木行政」の実現をめざして、事業の重点的かつ効率的な整備に取り組んでいます。</p> <p>安全で人にやさしく活力ある都市・地域づくりの促進のため、まちづくりに関わる関係市、府関係事務所や住民、NPO等が、情報を共有し、事業等の連携を図り、住民協働のもと継続的に地域づくりに取り組みが必要です。</p>	<p>当地域では他地域では見られない豊富な自然環境や各所に点在している歴史的資産を活かしつつ、安全で空間と時間にゆとりのある郊外住居空間の形成及び、駅周辺部においては駅を中心に市街地が発達してきた街の成り立ちを踏まえ、かつての魅力と活気に溢れる地域の拠点としてその再生を地域とともに目指すことを将来像としています。</p>

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
羽曳野市	テーマ	『人・時をつなぐ 安心・健康・躍動都市 はびきの』 H18.4 より	『歴史のかんじられる 活気あふれる 交流都市 “はびきの”』 H20.4 より	『花とみどりにかおる雅びのまち羽曳野』 H12.5 より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園等、拠点となる公園の整備 水辺等の自然環境の保全・市民のレクリエーションの場の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 河川緑地軸として石川、石川河川公園及び飛鳥川を位置づけ、環境保全機能、防災機能、レクリエーション機能の活用促進 大乘川も市街地部での積極的なみどりの創出を図る。 河川の水辺空間の持つ自然特性を活かした親しみがもてる景観形成 	<ul style="list-style-type: none"> 市の緑軸として、河川の積極的な緑化整備 大乘川の存在感を向上させる環境、景観面の緑化整備 ふるさとの川モデル整備事業と併せた飛鳥川の緑化整備
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識向上のためハザードマップ作成・周知 雨水処理施設等の整備、雨水調整池の設置指導 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災・減災意識の高揚 →防災訓練・教育、ハザードマップの公表等による情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難地として石川河川公園の整備の促進
	個性・地域性		<ul style="list-style-type: none"> 石川、飛鳥川の周辺環境と一体となった景観形成 	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動や広域的な交流活動に対応した親しみの持てる水辺空間としての石川河川公園の早期整備・充実の促進 市街地景観でランドマークとなる河川の保全・整備
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷清掃活動、市民参画による美化活動の推進 		
	生態系			<ul style="list-style-type: none"> 動物の生息地として重要なみどりとなる石川の保全 飛鳥川、大乘川、小用水路でのビオトープネットワークルートの緑としての整備
富田林市	テーマ	『みんなでつくる、育もう、魅力あるまち 富田林』 H19.3 より	『ひと・みどり・文化 定住のまち富田林』 H19.3 より	『緑がささえる豊かな暮らし、人々がともにはぐむ富田林のみどり』 H19.3 より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 石川などの水辺において、自然生態系との調和を図りながら、市民が水に親しみ、憩える空間を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園、千早川、佐備川、宇奈田川の親水空間資源の保全と活用 石川河川公園へのアクセスの改善、緑の基本ネットワークの形成、親水空間の保全と親水レクリエーション軸の創出 小河川、水路、ため池など身近な親水空間の整備・保全 各河川の親水性の保全・活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 府営石川河川公園は、レクリエーション利用、河川の動植物の生息環境として、自然レクリエーション拠点。 石川河川軸において、広がりある緑の空間と景観を活用しながら、憩いや環境学習、健康増進活動等、人々の多様な活動の場となる水と緑の交流軸の形成
	安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 河川における防災機能の強化 宇奈田川の改修事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 府営石川河川公園は一時避難地として位置づけられており、防災上重要な公園・緑地となる。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 自然、歴史環境の保全と活用 石川などの自然景観の保全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川・山並みの遠景の保全、石川河岸の中景の保全、近景としての佐備川、千早川、宇奈田川の水辺景観形成 石川河岸段丘等の斜面緑地の保全 歴史的なまちなみ、河川の水際線等の安全で快適に通行できるまちづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川沿いの河岸段丘崖の緑は、工場と住宅を隔てる緩衝帯、生態的にも重要なエコトーンであり、保全を検討。 宇奈田川の河川沿いの棚田、ため池、雑木林が一体となった良好な自然環境、河川沿いの竹林周辺のホタルの生息地の保全の取り組み。
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> 河川敷等の清掃活動などを通じて市民意識の向上 	
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> アユが遡上できるような河川の環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 石川河川公園の整備において、水辺の自然をできるだけ保全しながらの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、大和川に天然アユの遡上。石川にもアユ等の遡上を！

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
河内長野市	テーマ	『みんなで創ろう 潤いめぐる緑と文化の輝くまち 河内長野』 H18.3 より	『みんなで創ろう 潤いめぐる緑と文化の輝くまち 河内長野』 H12.6 より	『暮らしにうるおいをもたらす緑をはぐくみながら、緑の恵みを次世代に伝えていくまち』 H12.6 より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と回復、水環境の保全 野生動植物の生息・育成環境の保全 自然にふれあう場や機会の充実 水辺や山なみなどの景観の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な緑・水辺空間を保全・活用したうるおいあるまちなみ形成 中間山地の保水等の公益的機能や多面的機能の保全・活用 親水空間の保全・創出等による水辺空間の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の一部に残される自然護岸・緑については、水辺環境の保全、景観、レクリエーションなどの観点から一体的に保全・整備を検討し、心地よい公共空間づくりを目指す。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川の改修 雨水排水施設の整備 排水路、用水路の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽橋の優先的補修・補強、土木構造物の耐震性の強化 複層林、広葉樹林などの育成・保全による保水機能の向上の促進 大規模開発に対する調整池設置等による治水対策の指導 準用河川、普通河川の改良・改修事業の推進 多大な被害が予想される箇所を優先した防災護岸の整備 河川沿いで親水空間の保全と創出など、水辺空間の整備を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 保水・遊水機能を持つ樹林地や農地は、豪雨時の河川等への負担を軽減する役割を担う。市民生活の安全性の確保や防災性の向上の観点からも緑づくりの推進が重要。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的・文化的・自然的遺産の継承と活用 「河川を美しくする都市」宣言 S60.12 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡・文化財と一体となった自然的環境の保全 山間・丘陵部や田園地帯の河内長野らしい原風景の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 河川でのマス釣り大会、子ども魚つかみ大会、ホタル鑑賞会を実施
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主的な地域活動の支援、HP等の作成による市民への情報提供 アドプト制度、啓発活動・美化運動による自然環境・景観の保全。 森林保全に対する市民参加の方策を検討 	
	生態系		<ul style="list-style-type: none"> 生物保全空間としての水辺環境の保全の推進 河川改修事業を進めながら、生態系や景観について調査・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩湧山一帯の生物生息地をビオトープの核とた、拠点的な公園、グリーンベルト、自然環境の保全に配慮した河川整備、ビオトープネットワークの形成
千早赤阪村	テーマ	『みんなが集う みんなで育む みんなに優しい みんなを結ぶ ちはやあかさか』 H23.3 より	『みんなが集う みんなで育む みんなに優しい みんなを結ぶ ちはやあかさか』 H24.10 より	葛城山や金剛山の恵まれた自然と楠公誕生地等の歴史を通じて、豊かな暮らしと交流の広がるまち H14.3 より
	まちの基盤		<ul style="list-style-type: none"> 既存集落地を中心に自然との調和の取れた居住空間の形成を図る 山林地帯は、地球環境保全の観点から、水源かん養や森林保全の目的、良好な自然環境の維持・保全を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 生物生息空間を保全する多自然型川づくりを進める。 千早川・水越川などで、自然観察が行えるような環境整備を進め、住民が水と緑にふれあえる場づくりを進める。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災力の向上、適切な情報の確保や伝達などの手段を整備 河川の改修など、計画的な整備を関係機関へ働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> 千早川および水越川等の河川改修の促進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 伐採跡地での自然度の高い広葉樹等の拡大に努め、森林の保水機能等を保全。
	個性・地域性	<ul style="list-style-type: none"> 楠木正成をはじめとする歴史文化に関する調査・研究・保存、ネットワーク形成 		
	ひと		<ul style="list-style-type: none"> 突発的な災害に対して自主的に対応できるようハザードマップの作成や、緊急時に備えた心構えの啓発、防災教育、防災訓練を実施 	
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> 地域、家庭、学校、事業所と連携し、生活に身近な自然環境に対する意識の啓発や環境汚染の防止を図る 		<ul style="list-style-type: none"> 金剛山などを野生動植物のビオトープの核とし、千早川や水越川などの河川は、河川周辺の緑地とあわせた水辺空間を保全し、自然と共生するネットワークの形成を図る。
河南町	テーマ	『豊かな自然と文化 ともに創る笑顔あふれる元気なまち』 H22.3 より	『豊かな自然と文化 ともに創る笑顔あふれる元気なまち』 H22.3 より	『人・自然・歴史が共生するまち』 H13.3 より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 身近な河川、水路などの保全を図り、生きものや人に配慮した親水性の高い水辺空間を形成 石川の水辺空間を利用した石川河川公園の整備を促進 公共建築物や河川、道路などの整備にあたっては、ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが使用しやすいよう配慮するとともに、周辺の自然や歴史的環境と調和したまちづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 広域緑地である石川河川公園の整備を促進 水辺空間の整備や住民との協働による維持管理などにより親しまれる「川づくり」を進め、河川の自然環境の保全とレクリエーション空間としての活用を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 梅川、千早川等の緑のネットワーク形成 →河川沿いに残る樹林地の保全（緑地保全地区の指定、条例や陽光、協定等）やいきものの生息・移動空間に配慮した護岸整備 →堤防等を活用した散策路や休息所の整備、下水道整備等による水質の確保等
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川の改修や浚渫、老朽ため池の整備の促進 水源のかん養、土砂流出防止など、高い公益機能を有する森林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修を進めるとともに、排水流出抑制対策を講じ、総合的な治水対策を実施し、浚渫等の維持管理に努める 	
	個性・地域性		<ul style="list-style-type: none"> 緑地景観として、石川河川緑地の保全と整備に努める 	
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 広報や啓発活動を通じて環境保全意識の高揚を図り、美しい河川環境の保全に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の協力を得ながら、公園や緑地の適正な維持管理が進められるよう、ボランティア活動を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 河川やため池での植樹やプランター花壇等を利用した花づくり。 生活雑排水の流入抑制、ごみ拾いや草刈り等の普及啓発活動の展開
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に親しまれる空間の創出や生態系にやさしい川づくりを推進 		<ul style="list-style-type: none"> いきものの移動や生息・生育に配慮した河川・ため池改修や砂防事業等の促進

	項目	総合計画の将来像	都市計画マスタープラン	みどりの基本計画
太子町	テーマ	『みんなでめざします豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまち太子町』 H18.4より		『いにしえよりはぐくまれてきた歴史・文化、暮らしとともにかかわってきた自然を大切にしたい、くらしやすく個性と魅力のあるまちづくり』 H12.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 公共用水域の水質汚濁の防止 自然生態系の保全や自然との共生 		<ul style="list-style-type: none"> 農業振興を図りつつ、梅川周辺～石川沿いの田園環境の保全方策の検討 太井川等の河川空間、堤防等を利用した散歩道、ウォーキングトレイル等、みどりのネットワーク形成に努める。 太井川の旧河川敷を利用した、(仮称)太井川公園の整備の促進 水源涵養等の多様な機能を有する二上山を含む山林の保全 飛鳥川について、万葉の草花を基調とした緑化、親水空間の整備、下水道整備等より、万葉のせせらぎの川づくりに努める。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備などの治山・治水対策 		<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥川、太井川等、周辺に残る樹林地の保全や多様ないきものの生息・生育環境に配慮した、育成型の治水事業
	個性・地域性			<ul style="list-style-type: none"> 太井川、飛鳥川等、山林や農地、歴史資源と一体となった良好な環境や景観の保全 水と緑にした示す場としての周囲の植生の保全 トンボやホタル等のいきものの生息に配慮した整備による水辺空間の保全
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 水辺空間整備について、周辺住民も含めた維持管理体制の整備(唐川ホタルを守る会等)。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活雑排水の流入等を抑制、定期的なごみ拾い等の普及啓発活動の展開 魚の放流やホタルの飼育等 河川堤防への植樹やその維持管理を担うボランティア組織の育成 水源涵養等のため、林業振興とともに森林ボランティアの育成
	生態系			<ul style="list-style-type: none"> 生物生息空間に配慮した河川、ハイキングルート等による緑のネットワーク形成
柏原市	テーマ	『市民が生きいきとしにぎわいにあふれているまち 柏原 ～自然と歴史をいかした個性あるまちづくり～』 H22.3より	『市民が生きいきとしにぎわいにあふれているまち 柏原 ～自然と歴史をいかした個性あるまちづくり～』 H22.3より	『緑が生活の中に息づくまち かしわら』 H13.3より
	まちの基盤	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した総合治水対策に努め、保水、遊水機能の保全、雨水の流出抑制施設の設置など流域対策を推進 水辺に暮らす多様な生物を保全し、自然豊かな水辺空間が地域住民の憩いの場として利用されるよう整備するとともに、河川の自浄能力を高めるため、河川や水路の整備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 河川空間と街道空間にネットワークの軸としての機能を与え、地域性が積極的に活かせる都市構造とする 大和川と石川を緑水軸と設定し、市内を区分する機能に加えて、市内各地を結んで、うるおいを与える緑のネットワークの骨格として位置づけ、緑水軸については、自然的環境の保全とともに、レクリエーションの面で活用を図る 石川河川公園は、自然と身近にふれあえる環境整備に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の骨格となる山々や大和川・石川の恵まれた緑を保全し、自然環境の乏しい市街地へ連絡する緑の核となるよう保全 市街地内において、モザイク状に点在している個々の緑の質を高めながら、緑の効果的な配置や街路樹、河川・水路等によるネットワークづくりに努める。 川に面する区域の景観誘導の検討や水質浄化の促進、多自然型護岸の導入の促進など、自然豊かで、潤いのある景観の保全に努める。 河川や水路を活用した水辺のある歩行空間の整備
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 市内河川の治水対策については、洪水や地震に強い安全で安心できる河川整備の促進を図る 地域の情報機関の活用を図り、ハザードマップなどにより、土砂災害などに対する啓発、情報発信を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大和川と石川は、周辺都市との連携のもとで、総合的な治水対策を推進 ハザードマップや広報誌、パンフレットなどにより、市民の防災意識の高揚を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 階段護岸、河川プールなど災害発生時の消化・生活用水の確保 河川を災害時に活用できる水辺空間の整備
	個性・地域性			
	ひと	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主防災組織の結成を促進し、防災訓練を実施 災害時に地域の防災リーダー的存在となる、消防団員や地域の防災リーダーを育成するため、防災訓練や講習会および救命講習などを実施 河川美化活動を推進しながら市民が親しめる水辺環境を目指し、市民協働で清掃活動等を行い継続的な河川の維持管理に努める 		<ul style="list-style-type: none"> ワイルドフラワーによる河川敷の修景 市民の手による河川・水路の管理
	生態系	<ul style="list-style-type: none"> 自然の持つ浄化能力を高めるために河床等の改修等整備改修を進める 大和川を中心とした水環境改善を加速させるため関係機関と協力して水質浄化の啓発を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の水質浄化、河川沿いの緑化等により全市的に潤いとやすらぎを創出 大和川や石川等の主要な河川においてはその水辺景観の充実・育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の河川や水路について、改修や整備の際に生物の生息空間の創出や親水空間の整備に努める。 大和川・石川では、ヨシ原の再生、わんどの形成等、自然工法による護岸・河床整備、河川敷緑地形成等、連続的な生物生育環境の提供、水質の浄化

第4節 河川整備計画の目標

1. 洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減に関する目標

(1) 洪水対策

大阪府では、治水の将来目標として「一生に一度経験するような大雨（時間雨量 **80** ミリ程度）が降った場合でも、川が溢れて、家が流され、人がなくなるようなことを無くす。」こととしています。

その上で、「今後の治水対策の進め方」（平成 **22** 年 **6** 月策定）に基づき、「人命を守ることを最優先とする」ことを基本理念に、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」施策による総合的な減災対策に取り組んでいます。具体的には、大阪府域での今後 **20**～**30** 年程度で目指すべき当面の治水目標を河川毎に設定し、大阪府全域で時間雨量 **50** ミリ程度の降雨に対して床下浸水を防ぎ得るような河川整備をすすめることを基本とします。その上で、時間雨量 **65** ミリ程度および時間雨量 **80** ミリ程度の降雨で床上浸水以上の被害のおそれがある場合には、事業効率などを考慮して、時間雨量 **65** ミリ程度もしくは時間雨量 **80** ミリ程度のいずれかの降雨による床上浸水を防ぐことを整備目標として選択することとしています。

石川ブロックにおいては、太井川および水越川を除く河川で河川整備を実施し、治水安全度の向上を図ることとします。

当面の治水目標について、大乘川、梅川、佐備川、天見川においては、時間雨量 **50** ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐこと、石川、飛鳥川、石見川においては、時間雨量 **65** ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐこと、千早川、宇奈田川、加賀田川、原川では時間雨量 **80** ミリ程度の降雨による床上浸水を防ぐこととします。

なお、梅川上流、佐備川上流、石見川、加賀田川上流では、耐水型整備区間として、流域市町と連携し、ソフト・ハード対策を総合的に組み合わせることにより、現状よりも洪水リスクを高めないこととします。

また、流域全体での洪水リスク軽減に向けて、流域市町村と洪水リスクを共有し、ソフト・ハード面で連携して取り組むとともに、流域内に点在するため池による保水・遊水機能を維持できるように大阪府の農林部局、流域市町村及び関係団体とも連携していきます。

さらに、河川の土砂の堆積、植生の繁茂及び河床低下については、その状況を定期的に調査し、河川の断面に対して阻害率の高い区間を把握するとともに、地先の危険度等を考慮して計画的な維持管理、対策を行うこととします。

2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

石川ブロックの既得水利権としては、水道用水の許可水利権、農業用水の慣行水利権があります。河川の適正な利用および流水の正常な機能維持に関しては、今後とも、適正かつ効率的な水利用を目指します。

3. 河川環境の整備と保全に関する目標

大阪府では、河川環境の目標として、河川及びその流域の現状を十分認識し、自然環境、地域特性、景観、水辺空間などの様々な観点から治水・利水との整合を図ることはもとより、関係機関や地域住民との連携を図った整備と保全を目指します。

第一に、河川工事実施に際しては、河川全体の自然の営みや周辺環境の土地利用状況を視野に入れたうえで、「河岸やみお筋の保全」、「上下流の生物移動の連続性確保」、「周囲の景観との調和」など河川毎の特性に応じ、多自然川づくりを取り入れ、それぞれの河川が本来有している生物の生息・生育環境の保全・再生を目指します。

第二に、河川に親しみ、ふれあい活動の場にするため、関係機関や地域住民と連携し、散策路や川に近づくための階段等の整備を図るなど、川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成を目指します。

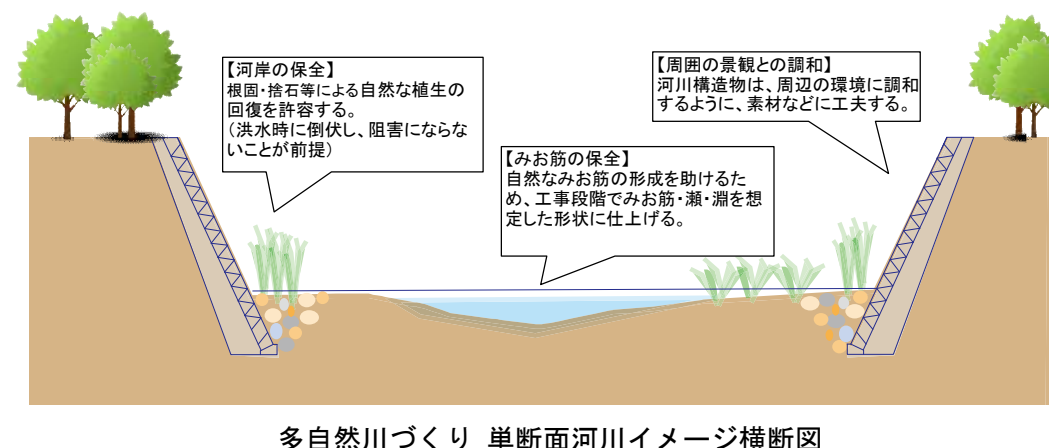
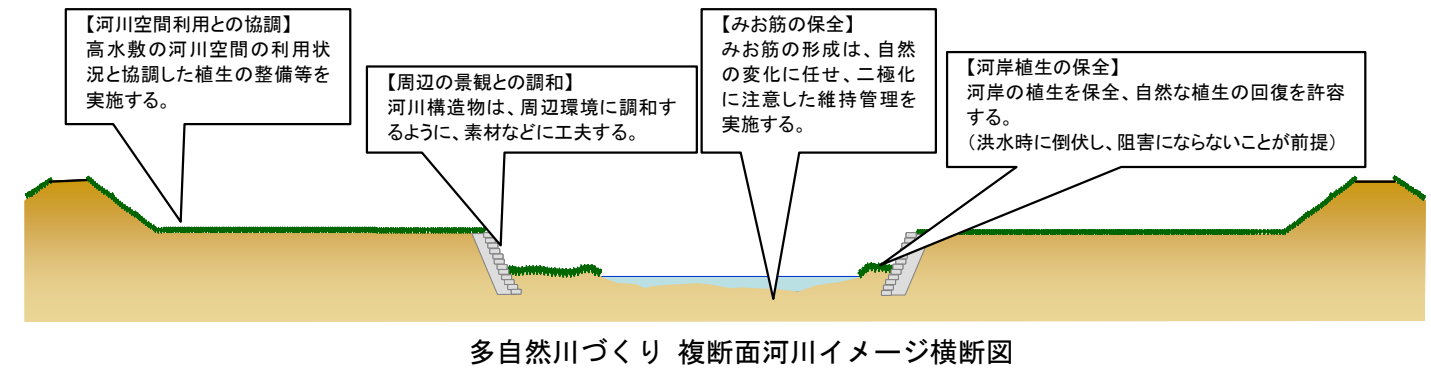
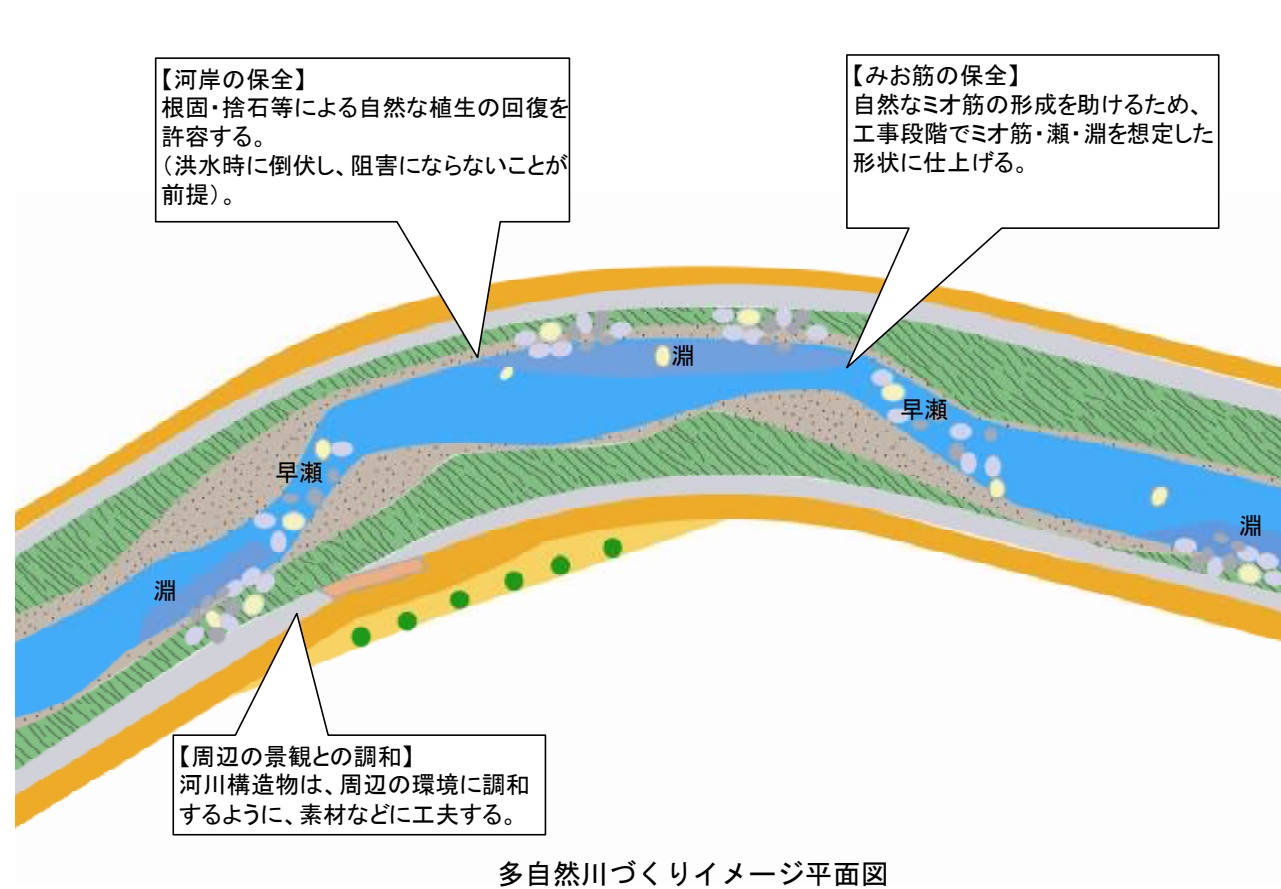
第三に、豊かな河川環境は重要な地域資源であり、良好な景観を維持・形成するため、川の周辺も含めた空間を考え、景観に配慮した材料を採用するなど、周辺環境との調和を目指します。また、関係機関や地域住民と連携し、地域住民が愛着を持てる空間づくりを目指します。特に、都心部においては、民間企業等の連携により、都市のシンボルとしての質の高い利用の促進を目指します。

第四に、水質について、下水道等の関係機関や、地域住民と連携し、より一層の改善を目指します。また河川で活動している地域住民やNPO等との連携し、河川美化、環境教育などにより水質の改善を目指します。

石川ブロックの河川環境の整備と保全に関しては、それぞれの地域が持つ歴史・文化・景観や多様な自然環境に配慮し、各地域の特徴を活かした河川整備、維持管理を行うとともに、大和川水環境改善計画に基づき、水環境の改善を目指します。

また、魚類や水生生物の生息状況の確認及び農業関係機関との協議により、河川の維持流量確保、河川横断構造物の改修を行うなど、魚類や水生生物の生育環境に配慮した河川環境の整備を目指します。

さらに、生物多様性の保全のため、外来種の繁茂・繁殖等により生態系に悪影響を及ぼすような場合は、外来生物法に基づき関係機関と連携し、生物多様性の保全を目指します。



多自然川づくり：河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことをいう。(「多自然川づくり基本指針」(2006年10月、国土交通省)より)

図 1.28 多自然川づくりイメージ図

石川ブロックでは、大きく5つのゾーン（市街地ゾーン-A，市街地ゾーン-B，里地ゾーン-A，里地ゾーン-B，山地ゾーン）に分類することができ、それぞれのゾーンの各河川の河川環境の整備と保全に関して、次のことを目指します。

石川下流エリア（市街地ゾーン-A）では、府営石川河川公園との調和を図り、環境学習の場としての活用、多種多様な生物が生息、生育する川づくりを目指します。

大乘川（市街地ゾーン-A）では、周辺環境と調和した景観の形成を目指します。

石川中流エリア（市街地ゾーン-B）では、多種多様な生物が生息、生育する川づくり、川沿いの樹林の保全を目指します。

天見川下流エリア（市街地ゾーン-B）では、川沿いの樹林の保全を目指します。

飛鳥川（里地ゾーン-A）、梅川（里地ゾーン-A）、太井川（里地ゾーン-A）では、歴史性を演出した河川空間の整備、保全を目指します。

千早川下流（里地ゾーン-B）、佐備川（里地ゾーン-B）、宇奈田川（里地ゾーン-B）では、棚田等の周辺景観と一体となった河川景観の保全、住民が水と緑にふれあえる場づくりを目指します。

石川上流エリア（山地ゾーン）、千早川（山地ゾーン）、では、多種多様な生物が生息、生育し、キャンプ場など自然に触れ合える場の保全を目指します。

天見川上流（山地ゾーン）では、多種多様な生物が生息、生育する川づくりを目指します。

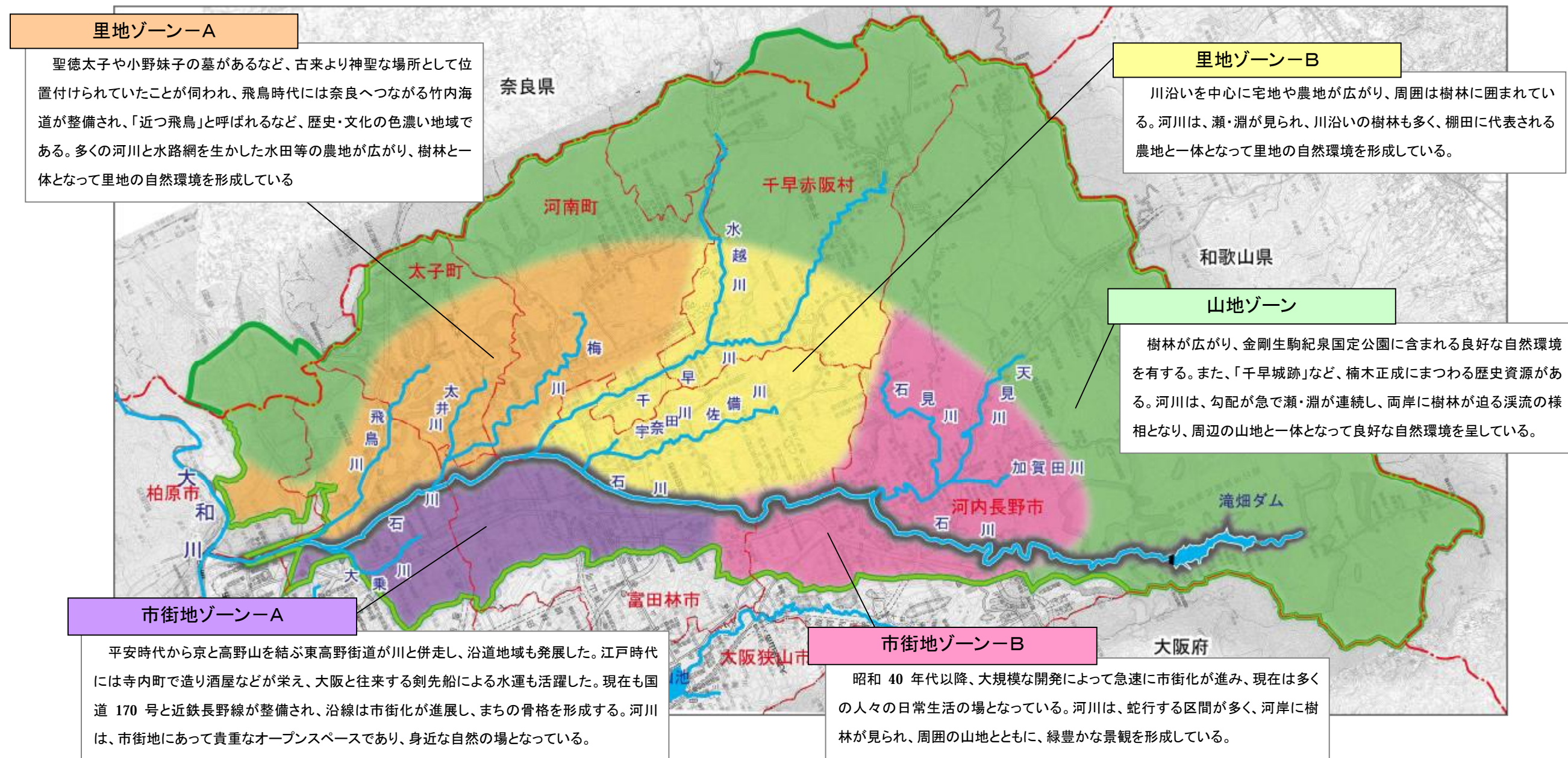


図1.29 石川ブロック ゾーン図

4. 河川整備計画の計画対象区間

本計画の対象は、石川水系および原川の一級河川指定区間とします。
そのうち、石川、飛鳥川、大乘川、梅川、千早川、佐備川、宇奈田川、天見川、石見川、加賀田川、原川では、洪水対策を実施します。
なお、維持管理については、石川水系および原川の一級河川指定区間で実施します。

5. 河川整備計画の計画対象区間

本計画の対象期間は、計画策定から概ね**30**年とします。

6. 本計画の適用

本計画は、治水・利水・環境の目的を達成するために、現時点での流域の社会状況、自然環境、河川状況に応じて策定しており、今後、これらの状況の変化や新たな知見・技術の進歩等の変化に応じて、適宜、見直しを行うものとします。